

2020年12月期 連結業績予想修正に関する説明資料



rakumo株式会社

(東証マザーズ：4060)

2020年12月11日

業績予想修正サマリー



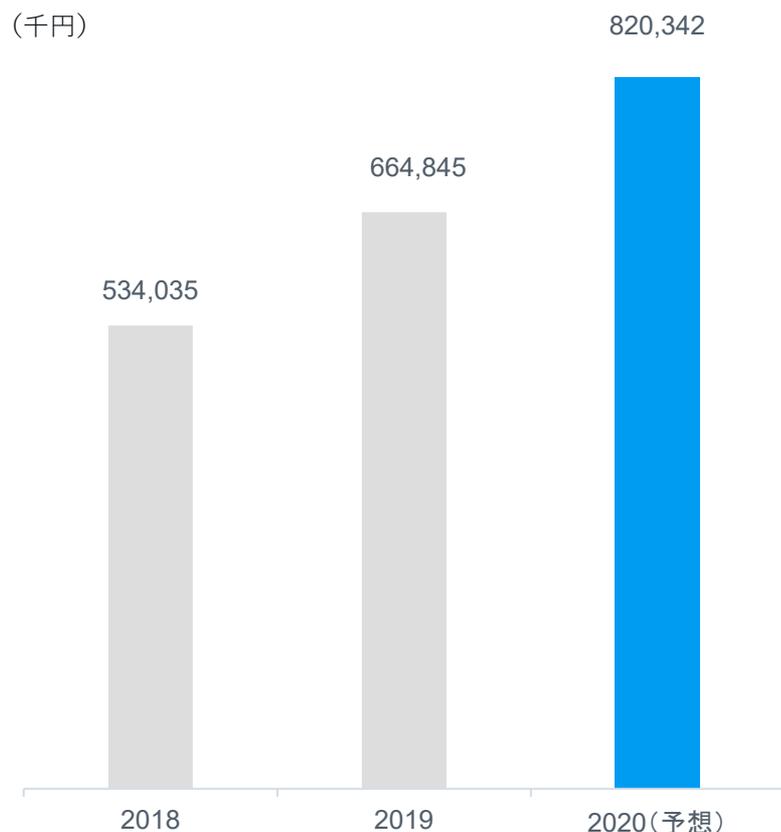
- ・ 段階利益が適時開示基準に該当する見込みとなったことから業績予想修正を実施
- ・ 2020年12月期の通期予想売上高は、SaaSサービスの成長（28.2%）を主因として前年同期比23.4%増を予想
- ・ 営業費用（売上原価及び一般管理費）は固定費が中心であり、売上原価率及び販管費率の予測値は、それぞれ前年同期比4.5pt及び7.2ptの改善見込み
- ・ 2020年12月期の通期予想の段階利益は前年同期比大幅増となり、前回通期予想を大幅に超過する見込み（営業利益：37.4%up、経常利益：48.3%up、当期純利益：53.5%up）

	2019年 通期実績 (千円)	2020年 修正通期予想 (千円)	前年同期比 増減率	前年同期比 改善point	2020年 前回通期予想 (千円)	修正通期予想 増減率
売上高	664,845	820,343	23.4%	-	817,842	0.3%
（SaaSサービス）	529,462	678,820	28.2%	-	675,667	0.5%
（ソリューションサービス）	50,691	44,434	△12.3%	-	46,265	△4.0%
（ITオフショア開発サービス）	84,694	97,089	14.6%	-	95,911	1.2%
売上原価	312,383	348,569	11.6%	-	359,781	△3.1%
（売上原価率）	47.0%	42.5%	-	△4.5pt	44.0%	-
一般管理費	327,878	345,149	5.3%	-	365,932	△5.7%
（販管費率）	49.3%	42.1%	-	△7.2pt	44.7%	-
営業利益	24,584	126,625	415.1%	-	92,128	37.4%
（営業利益率）	3.7%	15.4%	-	+11.7pt	11.3%	-
経常利益	20,196	105,484	422.3%	-	71,142	48.3%
（経常利益率）	3.0%	12.9%	-	+9.8pt	8.7%	-
当期純利益	△38,395	93,090	-%	-	60,651	53.5%
（当期純利益率）	△5.8%	11.3%	-	+17.1pt	7.4%	-

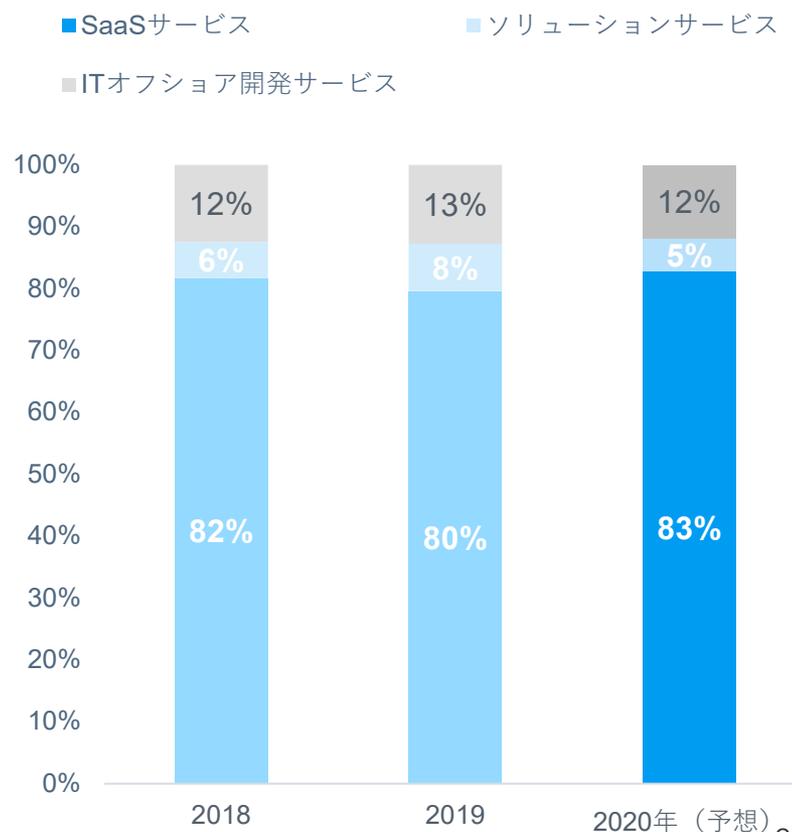
売上高の推移及びサービス別売上高割合

- ・概ね前回の予算通り進捗しており、SaaSサービスの増加を主因として売上予想を微増修正
- ・引き続き売上高は順調に増加しており、大企業の開拓なども進んだことから今期も増加を企図
- ・成長率と安定性の両方を兼ね揃えたSaaSサービスの売上高割合は80%以上と堅調に推移しており、SaaSサービスの割合が増加している状況

売上高



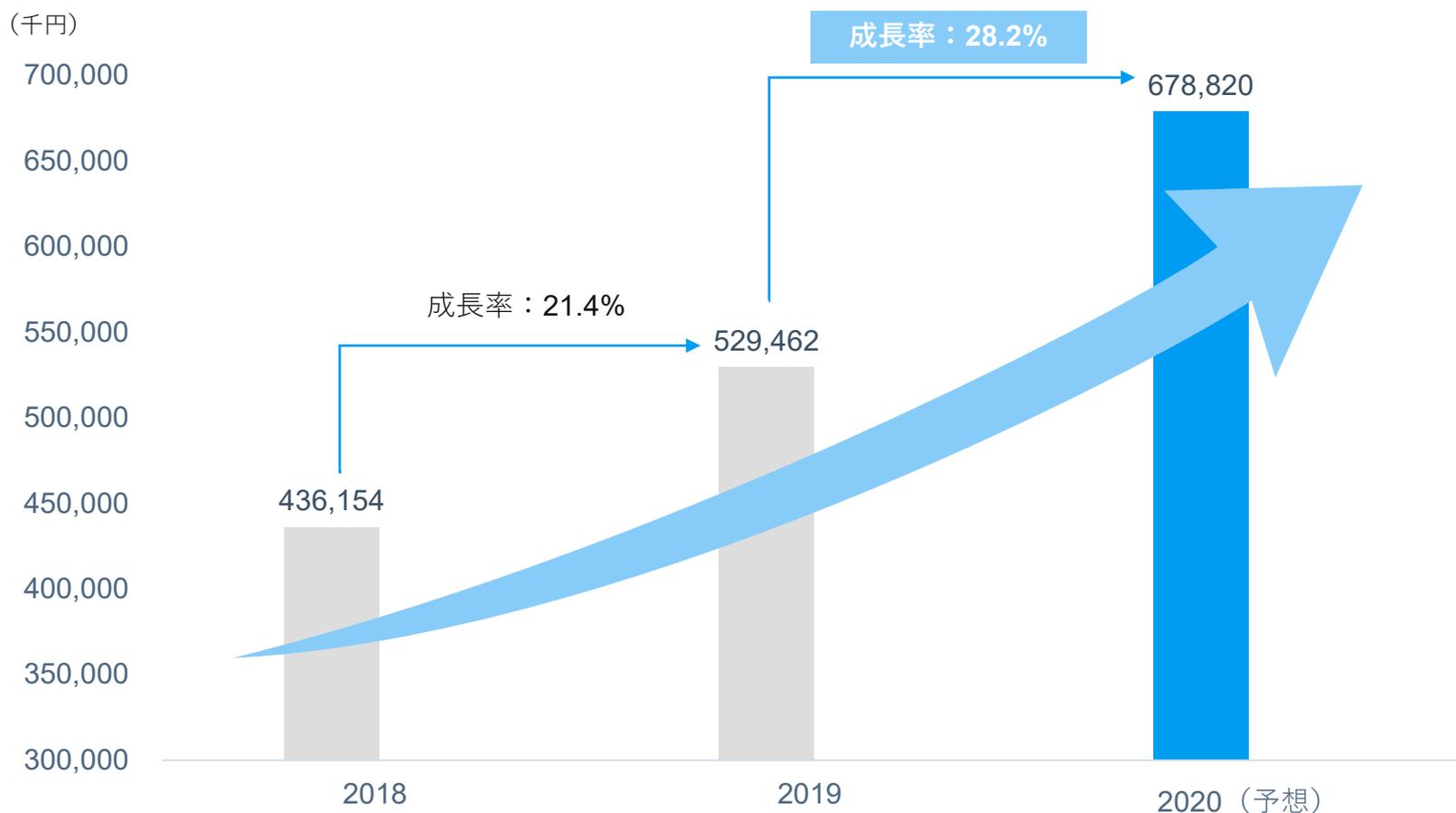
サービス別売上高割合



注：予測データについては本書提出日での当社予測データとなり、今後変更になる可能性があります。

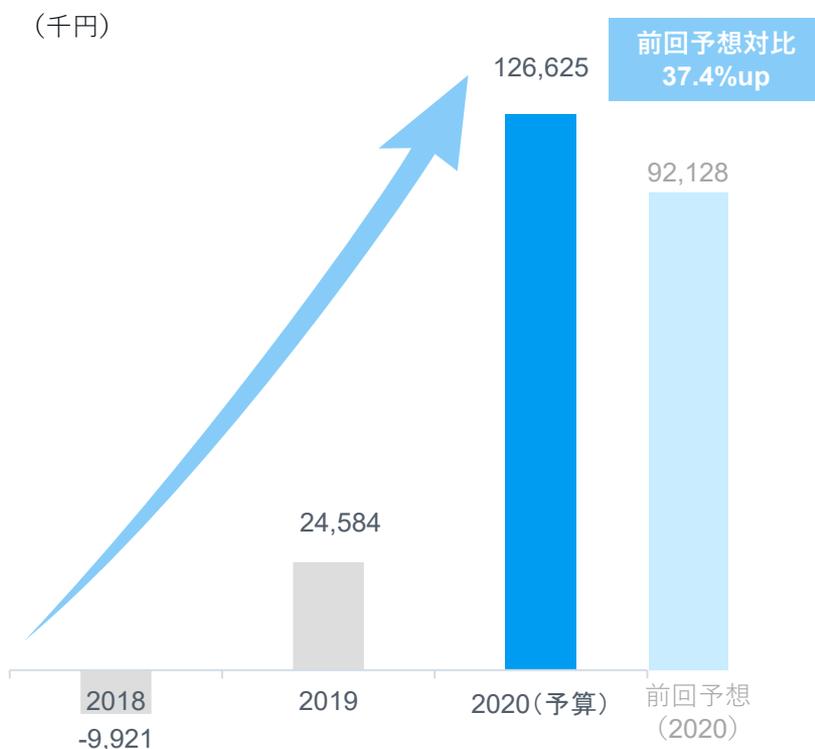
SaaSサービスの売上高の推移

- ・ 安定性と成長性を兼ね揃えた当社のメインサービスのSaaSサービスは、每期堅調に売上高を増加させており、今期は昨年と比較して高い成長（昨年21.4%⇒今期28.2%）が期待できる状況
- ・ 来期以降も当社のSaaSサービスを成長させるために、様々なパートナーとの関係強化及び更なる効率的な自社販売体制を構築していく方針

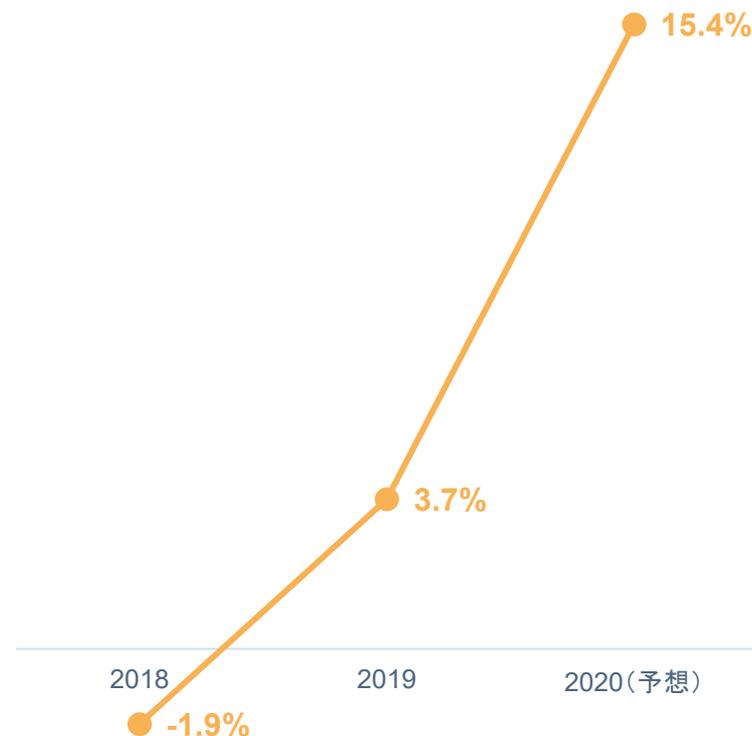


- ・修正前の通期営業利益予想は3Q時点で達成していた状況であり、4Qにおいても順調に推移する確度が高まったことから、大幅な営業利益予想の修正を実施
- ・前述の売上高の進捗及び営業費用比率の低下に伴い、営業利益率が大幅に改善する見込み
- ・今後もSaaSサービスをメインとした費用対効果の高い販売促進対策を実施の上、売上高の成長を目指し、同時に適切なコストコントロールを実施することにより、高い営業利益率の確保に向けて取り組んでいく方針

営業利益



営業利益率



注：予測データについては本書提出日での当社予測データとなり、今後変更になる可能性があります。



仕事をラクに。オモシロく。

煩わしさが仕事をつまらなくする。

もしも自分の仕事に集中できるなら。

「つまらない」が「オモシロい」に変わるとしたら。

さあ。rakumoで新しい働き方を。



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。